

「農」の最前線をお届けする、農業人のための広報紙

安心のネットワーク
NOSAI北海道

NOSAI

ほっかいどう



2023. **7**
Vol.7

contents

第2回通常総代会開催

全9議案を承認しNOSAI北海道2年目がスタート

NOSAI北海道のお財布

令和4年度の決算と令和5年度の予算を詳しく紹介

NOSAIクイズ

抽選で30名に
「美瑛選果 詰め合わせセット」を
プレゼント!

北海道農業共済組合 第2回通常総代会開催



6月2日、札幌市の共済ホールで第2回通常総代会を開催し、総代210人のうち、200人が出席(うち書面議決81人)しました。

議長に豊頃町の門広総代が選任され、審議のもと9議案について原案通り可決・承認されました。

農業経営のセーフティネットとして

組合長理事 岡田 恒博

新組合としての初年度の事業を振り返ると、引き受けについては収入保険制度への移行もあり、総共済金額は前年度より42.6億円減少しました。収入保険制度の令和4年度の加入者は、5959経営体で、前年度より578戸増加しました。

支払共済金は11.5億4千万円となつていきます。

昨年(令和3年度)の被害および事故については、令和3年産を含む支払共済金の合計額は、39.2億6千万円となりました。農作・畑作・果樹共済は、総じて平年並みから良の作柄でしたが、秋播小麦は天候不順による品質低下、てん菜は褐斑病・黒根病による減収や糖度低下、3年産ばれいしょ・たまねぎの干ばつによる被害等で、

園芸施設共済は、4月・9月・12月に低気圧の通過、冬期間の暴風雪の影響で施設の倒壊などの被害が発生し、支払共済金は2億7千万円となりました。

家畜共済の支払共済金は、27.4億5千万円となり、前年度に比べて12億6千万円減少しています。

被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

農業共済団体は、自然災害等のリスクから農業経営を支える農業共済と、品目にとらわれず自然災害や価

格低下などのあらゆるリスクから農業販売収入の減少を補てんする収入保険の2つのセーフティネットで地域の組合員や多様な経営体に安心を提供していくことが使命です。

組合の事業運営は、共済事業規模の減少、国事務費負担金の予算削減、建設資材費の高騰など、組合経営を取り巻く状況は厳しいですが、業務の効率化・合理化を推し進め、運営基盤の安定と強化、財務の健全化に向けた取り組みを進めてまいります。

今後も、組合員の負託に応えられる保険機能の強化と、農業経営の支えとして安心と信頼に基づくセーフティネットの提供に向け、一層の努力を誓います。



おかだつねひろ
開会のあいさつを述べる岡田 恒博組合長



いとうえいいち
開会宣言をする伊藤 榮一副組合長



かどひろし
議長を務めた豊頃町の門 広総代



つちやしゆんすけ
来賓 土屋 俊亮北海道副知事

Q 肉用子牛の限度超過の戸数、割合を教えてください。また、肉用子牛の治療に備えるため、肉用牛の疾病傷害共済へ加入が必要になります。治療に要する十分な共済金額が設定できません。保険期間中の追加増額はできませんが、一定の制限があるため実態に即しておらず、限度超過による治療費が高額になり、子牛を販売しても治療費を賄うことができません。大変厳しい状況が続いているので、対応をお願いします。

A 乳用牛農家が飼養する肉用牛の限度超過戸数は1523戸で、超過率は34.3%でした。また、肉用子牛の限度超過については農水省へ直接申し入れをしましたが「国庫負担が増加するような改正は、簡単に手を付けられない」という回答でした。しかし、先般開催された北海道・東北組合長会議では、総意として要請していくことで提案しており、今年度は全国の家畜担当者会議でも提案し、全国的な要請をする予定ですので、引き続き制度改革に向けて尽力します。

Q 獣医師不足が問題になっていますが、獣医師の確保対策について考えを聞かせてください。

A 産業動物臨床獣医師や北海道の魅力をもっと発信し、獣医学士には診療業務体験研修に参加していただき、北海道で産業動物の獣医になる優位性をアピールし、採用後もモチベーションを高めるように、常に技術向上を図り、採用を確保していきます。

また、職場環境を充実させ、中途退職者を減らすよう努力します。職員はもちろんですが、組合員の方々にもご協力いただき、地域に根差した獣医師の育成を目指します。

Q 繁殖検診のシステム利用料や妊娠鑑定などの料金が高くなっています。年度末まで詳しい情報が組合員に掲示されていませんでした。

A 診療所の経営状況で説明しましたが、家畜診療所勘定は統括センターによっては赤字で、このままでは累積赤字が膨らんでいきます。各統括センター毎に診療諸料金を設定しているため、赤字の統括センター

では諸料金を値上げせざるを得ない状況です。

組合員の方々への説明が遅かったことについては反省し、今後は改善します。

Q 統括センターの本所への業務統合について、十勝・ひがし・オホーツクについても計画されているのでしょうか。

A 現在は計画していません。みなみと道央については、支所が多く振興局も複数あるため、一旦センターで取りまとめました。この管理部門の中間業務プロセスを合理化することで、業務改善に繋がると考えています。

Q 地域のNOSAI部長が誰なのかのかわかりません。連絡体制についてどうしたらいいのでしょうか。

A 今年度から全域でNOSAI部長会議を開催し、組合の方針とNOSAI部長の業務は何なのかを理解していただく場を設けます。連絡体制についてもわかりやすいように構築していきます。

提出議案

議案第1号 令和4年度業務報告書の承認について

●業務報告書は組合ホームページに掲載しています

議案第2号 令和5年度事業計画の設定について

●事業計画は組合ホームページに掲載しています

議案第3号 令和5年度事務費賦課額及び徴収方法について

●賦課総額：27億4,819万7千円

議案第4号 役員・顧問・NOSAI部長の報酬について

●報酬総額：1億5,843万6千円以内

議案第5号 特別積立金の取り崩しについて

●取崩額：5千万円以内(家畜一般損害防止事業)

議案第6号 借入金の最高限度額等について

●借入限度額：150億円以内

議案第7号 損害評価会委員の補充選任について

●6名を補充選任

議案第8号 定款の一部変更について

●定款に規定する投票所の閉鎖(富良野地区の6力所)に伴う変更

議案第9号 事業規程の一部変更について

- 園芸施設共済の共済目的の増改築等に伴って、共済目的を再度申込む場合の共済責任期間を1年未満とすることを可能とする特例が追加されたことによる変更
- 家畜共済の共済掛金の分割払いにおける組合の定める書類を添付する旨の規定を削除するための変更
- 災害救助法が適用される災害が発生した場合に、保管中農産物補償共済の共済掛金の払込期限を延長できるように変更
- 「農業共済組合の模範事業規程例の基準」の一部改正に伴い、農業保険法令に合わせた字句の適正化を行うための変更

NOSAI 北海道のお財布



NOSAI北海道では、組合員の皆さまが納めた掛金や賦課金がどのように使われているのかをお伝えするため、決算や予算の内容を組合ホームページで公表していきます。このページでは、合併初年度である令和4年度の決算の概要や令和5年度の予算概要をご紹介します。

組合では8つの勘定(お財布)で、お金を管理しています。

令和4年度決算の状況

事業勘定

事業勘定は、納めていただいた掛金やお支払いした共済金を事業ごとに6つの勘定(お財布)で管理しています。畑作物共済を除く事業で剰余金が発生しています。当期剰余金は共済金の支払いや損害防止事業などの財源として積み立てます。

勘定科目	事業収益	事業費用	差し引き
農作物共済勘定	73億4,078万円	69億7,734万円	3億6,344万円
家畜共済勘定	318億1,875万円	307億4,593万円	10億7,282万円
果樹共済勘定	84万円	63万円	21万円
畑作物共済勘定	103億1,834万円	103億1,979万円	△145万円
園芸施設共済勘定	7億7,281万円	5億7,191万円	2億90万円
任意共済勘定	54万円	54万円	0

事業収益は掛金や交付金などを管理して、事業費用は共済金や保険料などを管理しています。



令和4年の道内の気象は局地的な大雨があったもののほぼ平年並みに推移し、農作物や果樹園芸に大きな被害は発生しませんでした。しかし、てん菜で糖度が低下するなど被害が生じたのに加え、令和3年産のばれいしょ、たまねぎで減収になったため、加入者の方へ共済金をお支払いしたことにより不足金が生じました。家畜共済にあっても事故が少なかったため、剰余金が発生しています。

業務勘定

農業共済事業の業務執行に要する経費に関する勘定で、国事務費補助金、皆さまの事務費賦課金などを収入源に職員の人件費、事務費、施設費などを管理する勘定(お財布)です。

業務勘定は多額の補助金を財源に運営していることから、収支無残を会計の原則としています。

収入総額 102億7,986万円



支出総額 102億7,986万円



剰余金に相当する金額が9,260万円あったんだね。



家畜診療所 勘定

家畜診療所の運営状況(損益)を明確にする勘定(お財布)です。診療や人工授精を行った収入を財源に獣医師や人工授精師の person 費、家畜診療所の維持費を賅っています。

令和4年度では収入から支出を差し引いた収支で**10億6,569万円**の**不足金**が発生しています。

収入総額 **188億6,721万円**

支出総額 **199億3,290万円**



令和4年度の不足金の主な要因

- ① 畜主の努力によって家畜の事故が減少しましたが、診療収入が前年度より大きく減収になりました
- ② **退職給与引当金の積立方法の変更**によって繰入する金額が増えました
- ③ **建設費等の高騰**によって将来の再建築に向けた積立金の増額が必要になりました



建設費の高騰や退職給与引当金の積立方法の変更など想定していない経費の増額があったんだね

退職給付引当金、簡便法から原則法になって何がわるの？

合併で職員数が1,500人を超え、今まで適用していた簡便法が使えなくなり、**原則法**に切り替えが必要になりました。



💡 簡便法と原則法の差額は令和4年度に一括して積み立てることが退職給付会計で定められています。令和5年度以降は差額が解消され、これまでもほぼ同水準で積み立てていくことになるので、経費の負担は**軽減**されます。

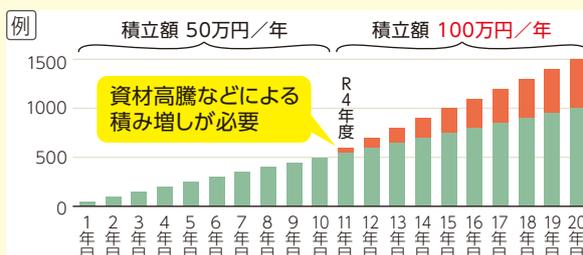


建設引当金に積み増しが必要？

昨今の資材高騰、人手不足などによって今まで積み立ててきた金額では建物を建てるができなくなり、将来の再建築に向けた積立金の増額が必要になります。



💡 令和元年度に家畜診療所勘定が家畜共済勘定と分離し新設されました。勘定分離時に家畜共済の積立金の一部を家畜診療所勘定に移管しています。積立金は診療所建設に充当することができましたので、この移管額の一部を建設引当金に充当しています。(令和元年度移管総額 **110億7,082万円**)



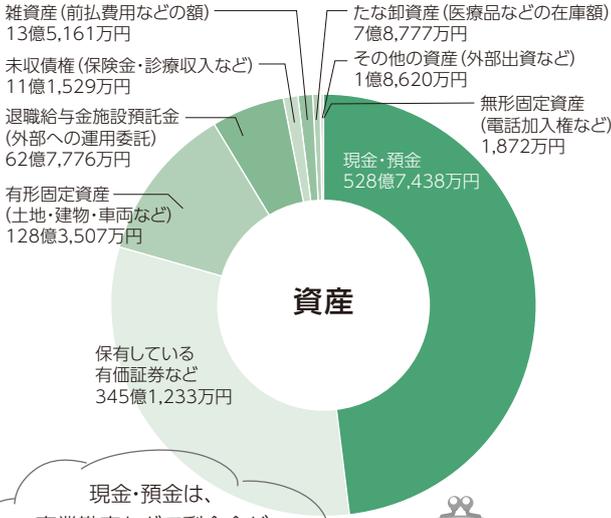
10年前の見積額1,000万円では建てられなくなったため、**建設費等の指数を用いて再建築費を見直しして、不足分を積み増し**します。

令和4年度 保有資産の状況

令和4年度末の組合が保有している資産と負債および純財産をご紹介します。

資産の内容

総額 1,099億5,914万円

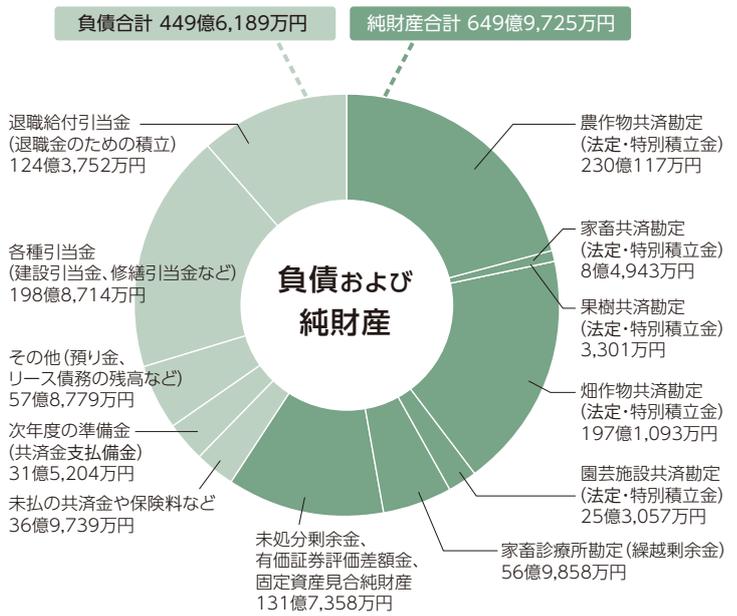


現金・預金は、事業勘定などで剰余金が発生して前年度より6,494万円増えているんだね。



負債・純財産の内容

総額 1,099億5,914万円



令和5年度 収支予算

令和5年度の業務勘定、家畜診療所勘定それぞれの収支予算をご紹介します。 ※()内は令和4年度決算額との差

業務勘定

■ 収入総額 100億3,911万円 (前年度比 2億4,075万円減) 国からの事務費補助金、組合員の皆さまからの賦課金、収入保険事業の委託収入、損害防止に係る負担金、並びに受取利息など

受取補助金 (国からの事務費補助金など) 38億8,019万円(+1億6,572万円)	賦課金 (組合員の皆さまが納めた賦課金) 27億4,806万円(-1億6,247万円)	受託収入	損害防止収入	受取利息	事業勘定受入 (事業勘定から受け入れる額) 10億8,063万円(-4億4,624万円)	各種引当金戻入 (各種引当金受入額) 9億3,081万円(+2億6,329万円)	その他 (業務雑収入など) 3億827万円(+2,320万円)
		(収入保険事業の委託収入) 3億7,001万円(-3,369万円)	(損害防止に係る委託費など) 2億9,878万円(-3,802万円)	(預金利息や有価証券利息など) 4億2,237万円(-1,255万円)			

■ 支出総額 100億3,911万円 (前年度比 2億4,075万円減) 役員及び業務職員の人件費、システム等に係る委託費、施設維持管理費、将来の建築のための引当金など

人件費 (業務職員の給与・退職金など) 49億1,976万円(-2億5,854万円)	業務費	施設費	事業勘定繰入 (家畜診療所勘定へ繰り入れた額) 9億3,694万円(-1億490万円)	各種引当金繰入 (将来の支出に備えるための積立金) 15億8,453万円(+2億9,427万円)	固定資産自己財源取得費 (固定資産取得に係る費用) 9億3,227万円(+4億9,202万円)	その他 (損害評価費など) 6億5,522万円(-1,507万円)
	(事務委託費、NOSAI部長の報酬など) 4億1,846万円(-5億7,071万円)	(施設修繕・管理費用など) 5億9,192万円(+1,478万円)				

家畜診療所勘定

■ 収入総額 193億8,341万円 (前年度比 5億1,621万円増) 直営診療所としての疾病傷害共済の共済金、並びに共済加入以外の諸料金、人工授精料金など

病傷事故診療収入 (共済事業による診療費) 100億6,065万円(+3億9,599万円)	病傷事故外診療収入 (共済事故外・非加入畜の診療費) 46億6,613万円(+1億9,262万円)	家畜人工授精収入 (人工授精に係る収入) 34億3,057万円(+3,701万円)	受業務勘定収入 (業務勘定から受け入れる額) 9億3,694万円(-1億490万円)	その他 (診療雑収入など) 2億8,912万円(-451万円)
---	---	---	--	---------------------------------------

■ 支出総額 193億3,125万円 (前年度比 6億165万円減) 診療所職員(獣医師・人工授精師など)の人件費、診療に係る医療品費、人工授精に係る費用など

診療人件費 (診療所職員の給与・退職金など) 75億6,190万円(-3億9,430万円)	診療所維持費	医療品消費費 (診療に使用した医療品・医療用消耗品の費用) 47億4,731万円(+9,836万円)	家畜人工授精支出 (人工授精に係る支出) 33億1,565万円(-1億5,661万円)	繰業務勘定支出	その他 (委託費、往診費など) 13億3,412万円(-1億5,760万円)
	(事務費、光熱水費、診療所の維持に係る費用) 13億4,178万円(+4億6,973万円)			(建設引当金など業務勘定へ繰り入れた額) 10億3,049万円(-4億6,124万円)	

令和5年度予算のポイント

- 厳しい酪農情勢を背景に離農等が進み家畜の加入頭数が1万7,000頭減少する見込みで、組合員の皆さまから納めていただく賦課金も死亡廃用共済・疾病傷害共済を合わせ前年実績よりも1億1,387万円の減少が見込まれます。
- 診療収入は診療点数表の改定などに伴い診療収入の増収が見込まれることから大きく収支が改善され、5,200万円の剰余金が見込まれます。
- 組合合併に起因した原則法による退職給付引当金繰入の積み増しが解消され、これまでとほぼ同水準で積立てていくことになり経費の負担は軽減されます。

診療所勘定では、
収支が改善されて5,200万円
の剰余金が見込まれて
いるんだね。



科目の説明

業務勘定

収入

受取補助金 : 国からの事務費補助金など
 賦課金 : 組合員の皆さまが納めた事務費賦課金
 受取利息 : 預金利息や有価証券などの利息
 受託収入 : 収入保険に係るNOSAI全国連から受ける収入など
 損害防止収入 : 損害防止事業に要した実費収入
 事業勘定受入 : 各事業勘定から業務勘定へ受け入れた額
 各種引当金戻入 : 建設引当金、修繕引当金、更新引当金などを戻入れた額

支出

人件費 : 役員報酬、業務職員の給与・退職金などの費用
 業務費 : 会議費、事務委託費、NOSAI部長の報酬などの費用
 施設費 : 固定資産の維持費、光熱費等の費用
 事業勘定繰入 : 損害防止費など家畜診療所勘定へ繰り入れた額
 各種引当手金繰入 : 退職給付引当金、建設引当金など将来の支出に備えるために積立てた額
 固定資産自己財源取得費 : 固定資産取得に係る費用

家畜診療所勘定

収入

病傷事故診療収入 : 共済事業による診療費
 病傷事故外診療収入 : 共済事故外、非加入畜の診療費
 家畜人工授精収入 : 家畜人工授精事業に係る収入
 業務勘定受入 : 診療所職員が行った業務に関する人件費相当分を業務勘定から受け入れた額

支出

診療人件費 : 診療所職員の給与・退職金など
 医療品消耗費 : 診療に使用した医療品・医療用消耗品の費用
 家畜人工授精支出 : 家畜人工授精事業に係る支出
 診療所維持費 : 診療所の事務費、光熱水費、その他診療所の維持に係る費用
 業務勘定繰入 : 建設引当金など業務勘定へ繰り入れた額

令和4年度 事業実績

令和4年度の北海道における引受・被害の状況をご紹介します。

農業共済制度の引受状況 ▶ 総共済金額(補償額) 8,475億8,861万円 ▶ 支払共済金の総額 392億6,486万円

共済事業	引受戸数(戸)	引受数	共済金額(千円)	農家負担掛金(千円)	被害戸数(戸)	支払共済金(千円)
農作物共済(4年産)	13,182	163,982ha	132,897,862	3,180,647	4,279	3,987,204
農作物共済(3年産)					142	111,291
家畜共済	31,761	2,894,429頭	502,142,192	14,184,619	-	27,454,235
果樹共済	30	23ha	56,549	812	2	119
畑作物共済(4年産)	9,545	156,783ha	138,994,973	2,367,520	3,133	3,203,500
畑作物共済(3年産)					3,249	4,238,037
園芸施設共済	11,231	82,525棟	73,322,032	352,214	599	270,476
保管中農産物補償共済	35	175口	175,000	542	0	0
合計	-	-	847,588,608	20,086,354	-	39,264,862

収入保険制度の加入状況と被害状況

	加入経営体(戸)	基準収入金額(千円)	保険金・特約補填金		つなぎ融資貸付	
			経営体数(戸)	支払額(千円)	経営体数(戸)	融資額(千円)
収入保険	5,959	200,333,388	2,087	8,074,785	519	2,964,690

令和5年度 事業計画

農業共済制度 ▶ 総共済金額(補償額) 8,368億4,147万円

共済事業	引受数	共済金額(千円)	前年比
農作物共済	156,700ha	145,803,740	109.7%
家畜共済	2,806,696頭	475,964,043	94.8%
果樹共済	25ha	55,249	97.7%
畑作物共済	152,503ha	136,887,104	98.5%
園芸施設共済	88,200棟	77,952,335	106.3%
保管中農産物補償共済	179口	179,000	102.3%
合計	-	836,841,471	98.7%

収入保険制度

	加入目標(戸)
収入保険	6,440

園芸施設共済には

こんな加入方法もあります！

補償額の上乗せ特約

標準コースでの加入は、補償額が年々低くなり、本体のパイプハウスは経過年数が10年経過すると新築ハウスに比べて4割の補償となります。そこで①**復旧費用特約**と②**付保割合追加特約**を付加する



と①は復旧することが前提となりますが、新築時の最大8割まで補償し②は新築時の資産価値の最大2割を補償します。これにより、**本体の築年数にかかわらず新築時の資産価値まで補償**されます。

ニーズに合わせて選択。小さな被害でも共済金を支払います

標準コースでの加入は、被害が発生した場合、損害額が3万円（または共済額の5%）を超えた場合に、損害の程度に応じて共済金を支払いますが、小さな被害も補償する特約「小損害不填補1万円特約」を付加することにより、損害額が1万円を超えた場合に、損害程度に応じて共済金を支払います。また、小さな被害は対象外としても、大きな被害のみ補償の対象とする場合は、損害額を10万円、20万円、50万円、100万円を超える金額から選択することで、**掛金が大幅に引き**されます。例えば20万円を超える金額を選択した場合、標準コースより約61%、100万円を超える金額を選択した場合は約97%も掛金が安くなります。



生産部会など集団で加入すると掛金や賦課金が引き

生産部会などの集団で、構成員の加入割合が8割を超えた場合に、**掛金の5%を引き**、加入者の人数によって**賦課金が10%から20%を引き**します。なお、引き引きを受けるには、NOSAIと協定を結び一斉に加入を申し込む必要があります。

園芸施設共済に加入中で、補償内容について見直しをお考えの方、または園芸施設共済の加入を考えている方は、NOSAIへご相談ください。

麦・畑作物共済からのお知らせ

畑作物の直接支払交付金の数量払単価における農業共済の取り扱い

令和5年産から数量払単価が「免税事業者向け」と「課税事業者向け」に区分されました。

なお、農業共済では「免税事業者向け」単価を用いて共済金額を設定します。



帯広市
有限会社 オオネ道下農業
代表取締役

みちした たかひろ
道下 隆宏さん(54)

令和3年
10月加入
(加入2年目)



経営内容
ダイコン、ゴボウ、ナガイモ、
小麦約158畝

Q 加入のきっかけは？

収入保険加入前は、台風や干ばつなどの自然災害による収穫量の減少や、販売価格の下落など、さまざまなるリスクと不安要素を抱えながら営農していました。

収入保険が始まる時には、NOSA主催で開催された説明会に参加しましたが、保険料、積立金、事務費の自己負担額も大きく、いったんは加入を見送りました。しかし、野菜中心の

経営で特にダイコンが不安定であることから、リスクヘッジが必要だと痛感していました。会社の経営を安定させるにはどうしたら良いか考えていたところ、自身の経営を管理しているコンサルタントからのアドバイスもあり、収入保険への加入を決断しました。

Q 加入してみようですか？

野菜類はコロナ禍の影響を受け、売り先からの注文減少と値段が安定しないため、大きな損失となりましたが、収入保険のつなぎ融資で経営を助けてもらい、事業を継続することができました。

野菜類を作付けするのであれば、しっかり投資し収入保険に加入することで、経営の後ろ盾を得ることができ、良いものを安心して生産できるメリットがあると感じます。

Q 今後の目標は？

6次産業化も視野に入れ、収入保険が担保となり、背中を押してくれることで新しいことにチャレンジしていきたいです。

加入者の声

「入ってよかった!」

収入保険

北斗市
株式会社 畠山ファーム
代表取締役

はたけやま まこと
畠山 誠さん(46)

平成31年
1月加入
(加入5年目)



経営内容
水稲、長ネギ、ホウレンソウ、
コマツナ、白カブ約12畝

Q 加入のきっかけは？

6年ほど前までトマト栽培を収入の軸としていましたが、法人化を見据え経営規模を拡大しようと考えていました。トマト栽培の経営を拡大させるには、ビニールハウスの増棟に係る経費や、収穫に要する人員の確保など多くの課題がありました。収入保険なら安心して経営方針を転換できると考え加入を決め、トマト栽培から長ネギ栽培中心

の経営に方向転換しました。

Q 加入してみようですか？

収入保険加入後は、安心して当初の目的である経営規模の拡大と、法人化を成し遂げることができました。自然災害のみならず、さまざまなるリスクに対応できるこの制度に感謝しています。施設野菜生産者にとっては、園芸施設共済の施設内農作物の補償では手薄と感じていたので、収入保険へ加入したことによって補償が充実しました。

Q 収入保険に期待することは？

経営規模を拡大したときの規模拡大特例や、自然災害で被災した際のつなぎ資金の受け取りなどは、収入保険制度の魅力的な部分です。このまま変わらぬ運用を続けてほしいです。



「もしも」に
そなえる、
あなたへの
エール。

収入保険

画像による診断、

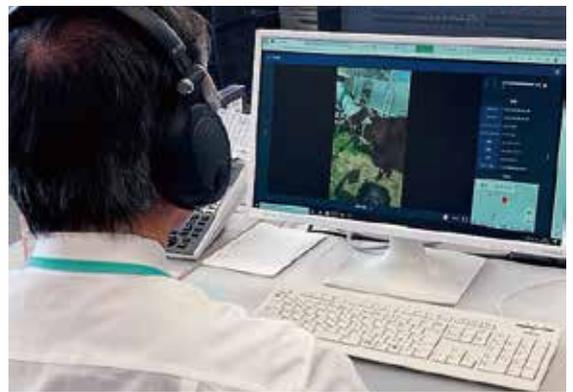
酪農家の方から一定の評価

石狩北部家畜診療所で遠隔診療を試験実施

遠隔診療は、家畜診療所から遠くに位置している組合員の方々の負担の軽減や、気軽に診療を求められる手段として期待されていますが、悪天候などで往診が困難な場合の診療や、診療の効率化にもつながるものと考えます。この度、みなみ統合センター石狩北部家畜診療所管内の組合員の方々にご協力いただき、試験実施を行いましたので、その概要を報告します。

診療依頼は、電話連絡などで受け付けし、内容を聞き取った後に、組合員がスマートフォンのカメラを用いて撮影した患畜の様子を、遠隔診療担当の獣医師が診療所のパソコンを用いてテレビ電話で確認し、診察を行います。遠隔診療の結果、往診が必要と判断した場合は、担当獣医師が往診に向かいます。当初は電話のみで受け付けていましたが、ショートメールの利用も試みています。

試験期間中、14頭の患畜を遠隔診療し、そのうち6頭に薬治を行いました。残り8頭については往診が必要と判断し、担当獣医師へ連絡して内容の伝達を行っています（表参照）。薬治した症例については、獣医師による配送で医薬品を交付しており、郵送業者による配送試験は実施できていま



テレビ電話の映像をパソコンに映して診察を行います

誤りの発生が懸念されましたが、担当獣医師間で確認しながら実施したことで、事務処理に関する誤りは発生しませんでした。

ご協力いただいた組合員の方からは「テレビ電話で患畜を見てもらいながら相談や診察が受けられること、特に診療には至らないかもしれないと、往診依頼を躊躇するような場面ではとても安心できた」といった意見や「すぐに薬を投与したいが届くのにかかる時間がかった。もっと使いやすい制度にしてほしい」との要望もいただきました。

今回の試験で得られた課題や、組合員の方からいただいた意見等を反映し、新しい有効なサービスにしたいと考えていますので、ご理解のほどよろしく願っています。

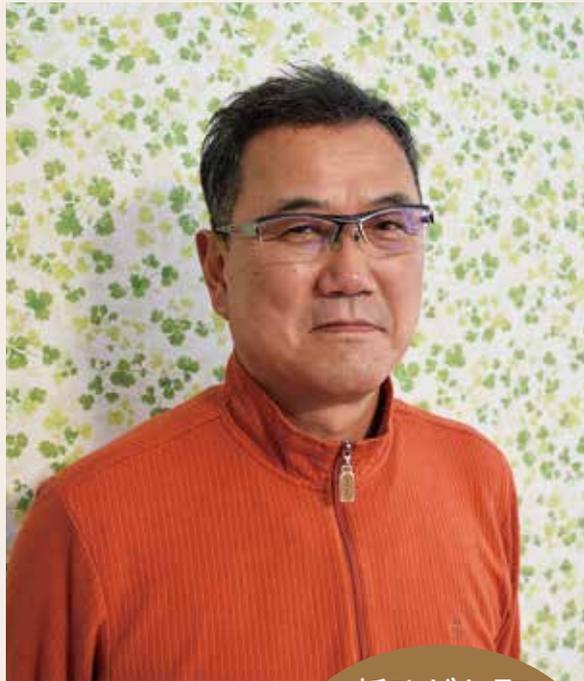
せん。

遠隔診療に関わる事故発生通知簿への記載、カルテの作成、種別通知書及び出荷制限期間指し書の発行など、複数人が関わることから、事務処理

●試験期間中にあった遠隔診療依頼

農場	実施日	対応時間	病名	成牛(頭)	子牛(頭)	遠隔診療を適用(頭)		診療所へ往診依頼(頭)	
						薬治対応	往診	往診(点滴必要性あり)	往診(輸血必要性あり)
K牧場	2/15(水)	8:30~9:00	ケトーシス	3		2	1	1	往診(点滴必要性あり)
			子牛腸炎		1		1	1	往診(点滴必要性あり)
M農場	2/15(水)	9:00~9:30	子牛肺炎		1	1	1		
K牧場	2/17(金)	8:30~8:50	成牛腸炎	1				1	往診(点滴必要性あり)
M農場	2/18(土)	9:00~9:15	子牛肺炎		1	1	1		
M農場	2/23(祝)	14:30~15:00	子牛腸炎		1	1	1		
K牧場	3/5(日)	8:00~9:00	子牛虚弱		3			3	往診(輸血必要性あり)
			起立不能	1			1	1	往診(予後判断必要性あり)
			ケトーシス	2		1	1	1	往診(点滴必要性あり)
合計	(休日対応3日)			7	7	6	8		

農場の環境整備で好循環を生む



新ひだか町

わた なべ たかし
渡辺 隆
さん

ブランドを立ち上げた渡辺代表

渡辺さんの弟が作成した
ブランドロゴ



新ひだか町静内田原の株式会社渡辺農場代表・渡辺隆さん(65)は、生産する黒毛和種を新たなブランド「桜黒和牛」として商品化しました。農場が桜の名所として知られる二十間道路桜並木に隣接していることから名付けられました。

「桜黒和牛」商品化へのきっかけ

渡辺農場は現在繁殖雌牛210頭を飼養し、9カ月齢程度の子牛を出荷する素牛として黒毛和種の

生産を行っています。市場では病歴、血統、性別等で価格が大きく変動することがあり、そこに違和感を抱いていた渡辺さんは、数年前から肥育することも試みていました。その

肉を関係者や知人に食べてもらった際に「あっさりしていてくどくない。脂が甘くおいしい」など、高い評価を得たことも今回の商品化につながりました。

環境整備の徹底で畜産業のイメージ向上へ

食の安全や肉の味のため飼料にこだわり、国内産のビール粕や醤油粕、酒粕、麹菌等の発酵食品残渣をエコ飼料として活用し、牛にも環境にも配慮している渡辺さんは「皆さんに評価していただいた味はこの飼料によるところが大きいと思います。発酵飼料を導入してから、肥育する牛も食べ止まりなくなりました。食べるようになり、腸内環境が良いせいか病気も減りました」と話しています。

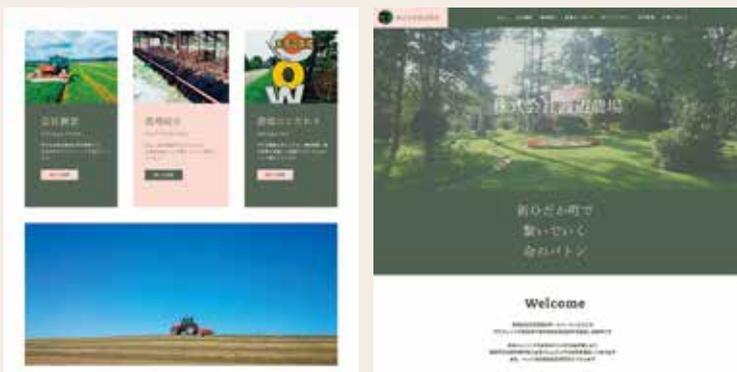
以前から衛生管理を徹底し、牛舎はもちろんのこと農場全体の環境整備を大切にしてきた渡辺農場は、牛に対する言葉遣いにも注意を払うなど、牛の尊厳を守り、牛が居心地の良い環境を目指した結果、働く人の環境も良くなり、好循環を生んでいるといえます。

渡辺さんは「農場を訪れる人が、畜産独特の臭いが無いと言ってくれます。牛、働く人、地域の人が快適に過ごせるように、畜産のイメージアップを目指していきたいですね」と話しています。

今後は、繁殖牛と肥育牛の増頭を計画し、インターネットでも商品を購入できるようにホームページの整備を進めています。



株式会社渡辺農場
ホームページ



6次産業化で日本を代表する

ポップコーンへ



人材育成にも力を入れる前田さん



北海道十勝ポップコーンファクトリー

本別町

まえ だ しげ お
前田 茂雄
さん

本別町の前田農産食品株式会社
代表取締役・前田茂雄さん(48)は、
自社産の原料を使用した「北海道
十勝ポップコーン」の製造・販売に
取り組み、電子レンジで加熱するこ
とで、できたてを手軽に食べられる
ことから人気を呼んでいます。

6次産業化に至る経緯

前田さんは、東京農業大学を卒

業後、アイオワ州立大学に留学し、
米国の大規模農業経営や流通を学
びました。

平成12年に実家の前田農産食品
合資会社に入社し、平成21年に小
麦粉の販売を始め、道産小麦をP
Rする必要性を感じ、道産小麦の
販路拡大やブランド化の推進など
を目的とした「北海道小麦キャン
プ」の実行委員として活動しまし

た。そこで、前田さんは従業員の方
場の雇用確保を目的に6次産業化
を進める決意をしました。

自社産トウモロコシで ポップコーンを販売

平成25年から国内では珍しいポッ
プコーン用爆裂種トウモロコシの栽
培を始めました。自社工場でポッ
プコーンの製造に取り組み、農閑期
安定した雇用の創出を実現しまし
た。令和4年には、新設した工場「北
海道十勝ポップコーンファクトリー」
も稼働しました。定番のうま塩味
のほか、今後は新しくキャラメル味
の生産も予定しています。

また、農業者と消費者間の連携
や地域づくりの取り組みを継続的
に行うことが評価され、第52回日
本農業賞「食の架け橋の部」で奨励
賞を受賞しました。

前田さんは「地域を巻き込んで商
品開発をしてきたことが評価され
ました。社員や地域の方々のおかけ
で受賞できたと思っていますので、感
謝申し上げます」と話していま
す。

今後の目標

将来的に、北米を中心に輸出も
したいと考えている前田さんは、人
材育成にも力を入れています。その
ため農業や産業に貢献する人材育
成を目的に、ナフィールド国際農業
奨学金の日本支部を令和元年7月
に設立しました。地域農業の課題
解決の一助となる人材と有意義な
情報と情熱の交換の場を提供して
います。「第5期のスカラー(奨学生)
農業者は7月より募集予定です。
日本支部のホームページをご覧いた
だき、ぜひチャレンジしてほしいで
す」と呼びかけています。



ナフィールドジャパン
ホームページ



北海道十勝ポップコーンうま塩味



ポップコーンの購入はこちらから

地域で酪農を守る



別海町

おお うち ゆう き
大内 佑輝
さん

工夫と手間をかけて作業する大内さん

育成したり、泌乳ステージによってフィードステーションによる給餌を行ったり、工夫は常に意識しています。思ったよりロボットへ不対応の牛が少ないですが、入ろうとしない子牛もいるので飼養管理が重要です」と徹底しています。

飼料は、130 鈔の草地で自給しており「ロールで給餌することで、ロールの変更による調整が可能です。健康維持につながるが手間はかかります」と話しています。

こんな時代だからこそ

大内さんは、個による酪農だけでなく地域での酪農も意識しています。協議会副会長や青年部の副部長などを兼任し、地域の酪農家を集めてセミナーなども積極的に開催しています。

「根室管内の酪農は、経営規模が大きく他地域のような共同作業やアルバイトが少なく、基本的に一軒で労働が完結していることが多いです。また、労働時間が長く農繁期が同時期のため、顔を合わせる機会が少なくなっています。そういった中で、講習会などを開催し農業技



ロボット導入などの半面、物を大事にすることも意識し、50年前のトラクターは今もなお現役



個体別に給餌ができるフィードステーション

術を習得したり、顔を合わせて話ができる場を提供できればいいですね」と話しています。

さまざまな物価の上昇や個体販売価格の低下等、酪農を取り巻く環境は厳しく、今年度の電気代のみで800万円ほど経費上昇する見込みの大内さんは「こんな時代だからこそ、より効率よく、少ない労力で高品質の乳製品を生産するスマート農業も取り入れ、地域一体で持続可能な酪農業を目指します」と話しています。

工夫は常に意識

別海町西春別の大内農場株式会社代表取締役・大内佑輝さん(35)は、家族4人で飼料用作物130鈔と経産牛120頭、育成牛130頭の乳牛を飼養しています。

昭和4年から4代にわたり酪農を営んでいる大内農場は、人手不足や高齢化を見越して搾乳ロボットなどを導入し、厳しい酪農情勢の中で輸入飼料高騰の影響を受けにくい自給飼料による飼養で酪農危機を乗り切っています。

令和元年に搾乳ロボット牛舎が完成。搾乳ロボット、フィードステーションによるP.M.R給餌、哺乳ロボット導入など、スマート農業化によって労働者人数や家族の総労働時間削減に成功し、以前よりも牛群の観察と育成牛管理の間が確保できました。

大内さんは「ただ漫然とすべてを機械に任せるのではなく、感染症に弱い出生後1カ月は手哺乳で

96歳まだまだ現役



湧別町
佐々木 昭一 さん
公子 さん

誕生日が同じで仲むつまじい佐々木さん夫妻

黒毛和牛2頭を飼養する佐々木昭一さんは、今年96歳を迎えました。

就農から62年

昭和36年に2代目として親から継いでから、就農して今年で62年を迎えます。

就農当初は、畑作やニワトリを100羽ほど飼養し、卵を背負って市場まで売りに行っていたと言います。

その後、豚、搾乳牛と飼養を変えました。ニワトリを飼養した時には「たびたびイタチに襲われた」と当時を振り返ります。

昭和48年から搾乳牛、昭和55年から肉牛の飼養をはじめ、夏はビール、かぼちゃ、スイートコーンなどの畑作もしながら、冬は山で木材を切る仕事をしていました。

「和牛振興会では、3年連続して兵庫県淡路島に和牛購入に行き、

各農家2頭飼養して生産向上に努めたんだ」と当時を懐かしく話しています。

未整備の道を行く苦勞

「牛乳は、輸送缶に入れ、山を越えた先の開盛小学校まで届けていたが、道が悪くて大変だった」と話します。「馬車なども使い、兄弟と協力して運んでいた」と昭一さん。

「未整備の道を行くのは非常に大変だった。大変だったが、みんな同じだから苦勞だとは思わなかった」と言います。

妻と二人三脚で

今までで一番大変だったことは「冬場、仕事で山にいたとき、妻を一人置いていくことですかね」と言い「人工授精の度に、開盛地区にいか所しかなかった診療所まで片道4歳、一人で牛を連れて



これまでの歴史を語ってくれました

行ってくれていたのは、本当に大変だったと思うし感謝しています」と公子さんへの想いを伝えます。
長寿の秘訣を尋ねると「妻と一緒にいると、弱ったところ見せられないよ」と笑顔で答えてくれました。
公子さんは、手芸が得意で、クッション、靴下、足カバーなどを作って楽しんでいきます。

今回の
プレゼント

正解者の中から抽選で
「美瑛選果 詰め合わせセット」を
30名の方にプレゼントします!



【美瑛選果 詰め合わせセット】

「丘のまち」美瑛町にある、食を中心とした美瑛ブランドが集まる場所「美瑛選果」より、おすすめ商品の詰め合わせセットをお届けします。
フリーズドライのお菓子をはじめ、地元産のトウモロコシを使ったクリーミーなとろとろコーンスープや、豚肉の中でも味の良いウデ肉がゴロゴロと入っているカレーと、ドレッシングの中で一番のヒット商品「黒酢たまねぎドレッシング」は、「横浜桂林」とのコラボ商品で、一度食べたらリピート間違いなしです。

応募
方法

【メール】 honsyo_kouhou@nosai-do.or.jp
【FAX】 011-232-3246
【ハガキ】 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1
北農ビル15階 NOSAI北海道 クイズ係

応募フォーム



応募はNOSAI北海道で農業保険に加入している方とご家族に限ります。
上記の応募方法から、住所・氏名・年齢・加入者氏名・電話番号・右記クイズの答えと「NOSAIほっかいどう」へのご意見や感想を記入してご応募ください。

応募
メ切り

令和5年8月31日(木)必着

※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズに
答えて

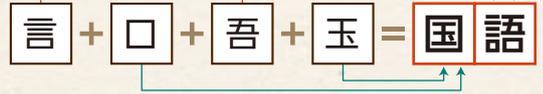
プレゼントを当てよう!

NOSAIクイズ

次の□の中の漢字を合体させて
二字熟語を完成させよう!



例題



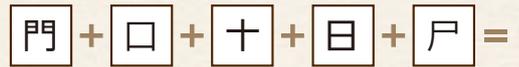
Q1

A1:



ヒント 公的の反対は

Q2



ヒント 英語ではリビング

A2: □□

前号の
答え

A1 パン A2 □ (くち)



祐太さんの両親と妻のまり子さん。この他に3人の子どもたちと一緒に暮らしています

青年部活動には、毎年計画される当組合道央統括センター北空知支所との球技大会や研修会等が含まれ、次世代の農業者とNOSAI職員が交流する貴重な機会となっております。

「盟友は少なくなっていますが、みんなを引っ張り青年部活動を盛り上げたい。そんなキャラではないですけどね」と笑顔で話してくれました。

も活躍しています。

「今は基本に忠実に取り組んでいるが、将来は自分なりの栽培方法も考えたい」と話す祐太さんは、JA空知青年部北ブロック代表理事と地元のJAきたそらち青年部北竜支部の支部長を務めるなど、地域の代表としても活躍しています。

農繁期の取材依頼も快く引き受けてくれた川村祐太さん(31)は、北竜町の板谷地区で水稲・秋麦・大豆・メロンなどを作付けし、父・功いさおさんのもとで営農技術の習得に励んでいます。

今号の表紙





地元素材にこだわるグルメや、大自然を堪能できる名所など、
地元だからこそわかるレアな魅力を発信していきます。



世界でここだけ赤紫蘇下阿達「リモチーン」

蘭越町では、京都大学と医薬品開発支援大手のシミックホールディングスと連携し、薬用植物の研究栽培に取り組んでいます。中でも**赤紫蘇の新品種である「下阿達」**の本格栽培が令和4年6月から始まりました。

下阿達は、β-カロテンが人参の約1.3倍、カリウムはバナナの約1.8倍、動脈硬化や生活習慣病の予防に役立つポリフェノールが赤ワインの約3.7倍などと高く、レモンのような酸味と柑橘系のような爽やかな香りが特徴的です。「里の美しく、清らかな川で育った紫蘇」をキャッチフレーズに「リモチーン(里美清蘇)」と命名し、蘭越町では無農薬で栽培しています。

収穫期の夏には町内で生葉の販売を予定しているほか、下阿達の風味を生かしたハーブティーやトニックウォーター、ドレッシングなどの開発を進めています。さらに、同品種を使った新しいオリジナルジンの販売をひかえています。

下阿達を使ったさまざまな商品で、爽やかな香りをお楽しみください。



バラの芳醇な香りに包まれて

岩見沢市の**いわみざわ公園内にあるバラ園**は、道内最大規模で北国のバラ園として人気です。

約4万㎡の敷地内には北海道原産のバラの原種「ハマナス」を含む約630品種8,800株が咲き誇り、夏バラは6月中下旬～7月中旬、秋バラは9月中旬～10月中旬頃まで楽しむことができます。

園内は「イングリッシュローズガーデン」やハマナスの丘まで続く「オールドローズの小径」など複数のガーデンやゾーンで構成し、鮮やかな色と芳醇な香りで訪れる人々を魅了します。

バラ園は全面無農薬栽培を目指し、平成25年からの



写真提供：一般社団法人 岩見沢市観光協会

取り組みで化学農薬に頼らない植物由来の抽出液を散布することで病虫害を防いでいます。

自分好みのバラを探しに散策に出かけてみてはいかがでしょうか。



自家産牛肉の販売開始

新得町で酪農と畜産の複合経営を営む関口効雄さんが、**自家肥育した牛肉の販売を開始**しました。販売しているのは47カ月齢まで肥育した交雑種(F1)の雌牛の肉で、通常の肥育期間よりも長く肥育することでよりおいしく仕上がっています。

加工肉はハンバーグとローストビーフ。精肉はヒレ、サーロインなどの各部位をステーキ、焼き肉用にカットして販売しています。F1の牛肉はしっかりした食感で肉本来の味が楽しめます。

町内では口コミだけで評判が広がり、大人気の商品となりました。新得町を代表する自慢の牛肉を、ぜひ味わいに来てください。



お寿司屋さんで絶品バーガー

別海町にある創業36年の「**双葉寿司**」では、地産の牛乳をジョッキグラスで提供する「別海ジャンボ牛乳」と「別海ジャンボホタテバーガー」のセットを1日10食限定で販売しています。

別海ジャンボホタテバーガーは、別海町の牛乳をPRするために開発されたご当地グルメで、平成22年から開催されている「全国ご当地バーガーグランプリ」では初代から2連覇した一品です。別海町の飲食店でのみ提供され、具材は野付産の大きなホタテを使用した春巻き、玉ねぎのマリネ、レタス、モッツアレラチーズです。ソースは3種類で、みそソースは全店舗共通、他の2



種類は店舗ごとに異なり、双葉寿司では玉ねぎマヨソースとオーロラソースを使用しています。バンズと具材が別で提供されるため、自分で作り上げる楽しさも味わえます。

双葉寿司では、別海町で漁獲量の多いホッキ貝を使用した「ホッキカツバーガー」もイベント限定で販売しています。ぜひ、イベントやお店を訪れ、別海町の特産品を味わってください。



羊界のサラブレッド

置戸町常盤地区の田中眞さん(73)は、牛と羊の肥育・繁殖を行っています。

牧場では「**羊界のサラブレッド**」と称される脂肪が少なく優れた赤身肉として定評があるテクセル種とサフォーク種の羊(約150頭)を飼育しています。

3年前から牧草のみを与えた「グラス・フェッド」の牛肉と羊肉の生産に取り組んでいます。

田中牧場の羊肉は北見市内では「焼肉ほりぐち」で提供されており、羊肉特有の臭みは全く感じず定番の焼肉はもちろんのことお刺身としてもいただくことができます。



＼NOSAI北海道からのお知らせ／

5月分仮渡し共済金を支払いました

令和4年産農・畑作物共済の5月分仮渡し共済金を5月31日(水)に支払いました。

農作物共済は水稻で167戸の対象者に81,867,370円、畑作物共済は5品目で580戸の対象者に242,578,109円を支払いました。

	作物名	共済金支払対象戸数(戸)	共済金支払額(円)
農作物共済	水稻	167	81,867,370
	大豆	17	4,226,985
	小豆	354	165,987,960
畑作物共済	いんげん	205	70,220,450
	スイートコーン	3	2,045,892
	かぼちゃ	1	96,822
	畑作物 計	580	242,578,109
農畑作物の合計		747	324,445,479

全道総代研修集会を開催しました

6月1日(木)に札幌市の共済ホールで、令和5年度全道総代研修集会を開催しました。

94人の総代が出席した研修集会では、第1部「令和4年度決算及び令和5年度予算の概要について」を上田総務部長、第2部「財務健全化に向けた取り組みについて」を森谷総合企画室長が説明しました。



参加した総代は説明者の言葉に熱心に耳を傾けていました

広報紙「NOSAIほっかいどう」がコンクールで金賞を受賞!



NOSAI協会が主催する「令和4年度農業共済組合等全国広報紙コンクール」で、当組合の広報紙「NOSAIほっかいどう」が、最高賞の「金賞」を受賞しました。



全道1組合となり、初めての応募にも関わらず金賞を受賞できたことは、取材にご協力いただいた農業者や関係機関をはじめ、制作に関わる全ての方々のおかげです。

今後もより良い広報紙を目指しますので、ご協力をお願いします。

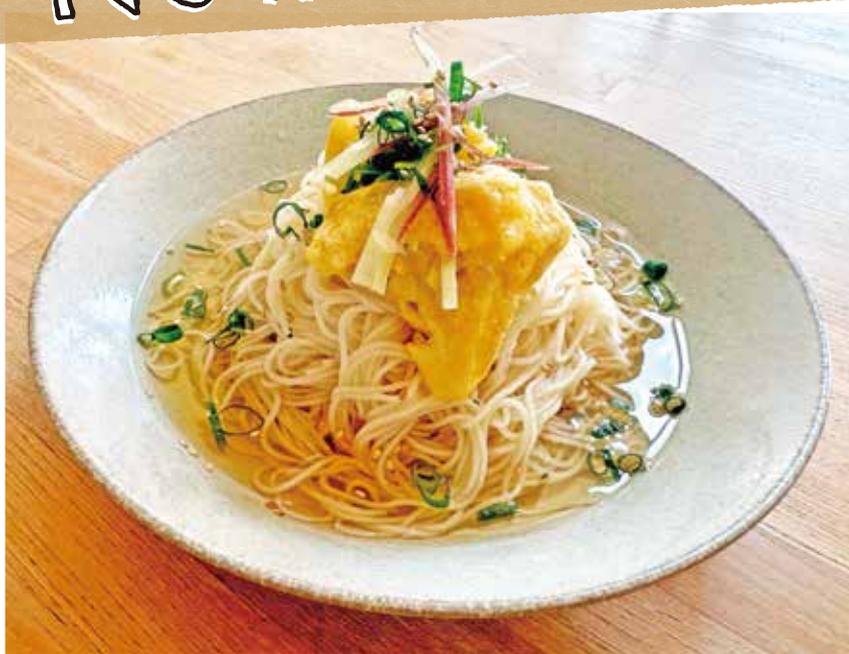
組合の動き | 5月～6月

組合で開催された主な会議等を掲載します。

- 5月9日 第1回総務専門委員会(TV会議)
- 5月15日 第2回総務専門委員会(札幌)
 - 第1回農作・家畜専門委員会(札幌)
 - 第1回余裕金運用管理委員会(札幌)
 - 第1回安全運転管理委員会(札幌)
- 5月16日 第1回理事会(札幌)

- 6月1日 第2回理事会(札幌)
 - 令和5年度全道総代研修集会(札幌)
- 6月2日 第2回通常総代会(札幌)
 - 第3回理事会(札幌)

N's kitchen



今回の食材は

カリフラワー



アブラナ科アブラナ属の野菜でキャベツやブロッコリーの仲間です。美肌や免疫力向上に役立つビタミンCが含まれています。また、カリフラワー特有の『MATS(メチルアリルトリスルフィド)』は強い抗酸化力を持ち、血栓予防に効果があるので、食べすぎた翌日などにぴったりです。つぼみが開花せず重みのあるもの、変色せず、白く丸みがあるものを選びましょう。

カリフラワーのフリット素麺

材料(2人分)

【白だし】(市販で代用可能)

- ・水…………… 600ml
- ・昆布…………… 8cm
- ・かつお節…………… 10g
- ・酒…………… 50ml
- ・みりん…………… 100ml
- ・塩…………… 大さじ2/3
- ・しょうゆ…………… 大さじ1

【フリット】

- ・カリフラワー…………… 1/2株
- ・薄力粉…………… 大さじ3
- ・水…………… 大さじ3
- ・カレー粉…………… 小さじ1/4

- ・素麺…………… 2束(200g)
- ・薬味(ミョウガ、小ネギ、白ごまなど)

作り方



1 白だしを作る。水を入れた鍋に、3cm幅に切った昆布を1時間ほど浸しておく。鍋を火にかけ、沸騰直前に昆布を取り出す。沸騰したら火を止めかつお節を投入し5分ほど置いてからこす。



2 別の鍋に酒、みりんを入れて火にかけ、2分ほど沸騰させてアルコールを飛ばし、塩、しょうゆ、1の白だしを加えて沸騰したら完成。粗熱を取り、冷蔵庫で冷やしておく。



3 フリットを作る。カリフラワーは小房に切り分ける。ボウルに薄力粉、水、カレー粉を入れて混ぜ、カリフラワーに和える。170℃に熱した油でカリッとするまで2分程度揚げる。



4 素麺を商品の表示通りに茹でる。茹で上がったたら冷水でしめる。素麺を盛り付け、白だしをかける。その上にフリットと薬味(ミョウガ、小ネギ、白ごま)をトッピングしてできあがり。

レシピ考案



野菜ソムリエ
森 雅美さん

江別市の森農場で農作業全般と販売を担当。野菜ソムリエの資格を生かし、食育活動にも力を入れています。

現在はホームページ「森のみのり」でネット販売を展開中。Facebook、Instagram、Twitterで農場の様子を日々発信しています。

ポイント

夏の暑い日には、白だしをしっかり冷やした方がおいしく召し上がれますが、冷ます時間がない時は氷を入れると見た目も涼しい一品に仕上がります。トッピングや薬味は自分好みにアレンジしてみてください。

